7. 敦賀総合研修センター 公開研修「安全体感研修」のご紹介

敦賀総合研修センターでは，新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで公開研修コースを開催しています。今回は，公開研修コースの「安全体感研修」についてご紹介します。

敦賀総合研修センター

安全体感研修は，様々な危険を疑似体験することによって実際の現場災害の怖さを体感し，日々の安全作業に取り組む姿勢を確認することを目的としています。安全体感設備を使って，高所から重量物を落下させたときの安全ネットの衝撃力や 1t の吊り荷の荷振れの力の大きさ，高所歩廊の歩行，回転体への巻き込まれなどを体感できます。原子力発電所だけでなく一般の工場，工事現場で作業されている方にも有益な研修です。社員研修・教育に，ぜひお役立てください。

2020 年度の安全体感研修は終了しましたが，2021 年度の予定は 3 月にホームページでお知らせします。他にも各種研修を予定していますので，下記 URL または QR コードからご確認ください。

落下物の衝撃を体感

梯子から足場へ移動する高所作業体感

1t の吊り荷の荷振れの力を体感

公開研修に関するお申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見(くつみ)165 号 9 番地 6）
電話：0770-21-9700　FAX：0770-21-9726（応募申込専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp
http:// www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html

◀こちらから 敦賀総合研修センターのホームページをご覧いただけます

げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ

◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧いただけます

◆ANJI と SHINJI ふたり展　2 月 2 日（火）～7 日（日）

ANJI（梅田 晏慈）様と SHINJI（森下 真司）様の作品 38 点を展示予定です。
ANJI 様の素直で思うがままに描く絵画作品と，SHINJI 様の手法に決まりのない自由表現の毛糸のアート（ネアリカ）作品を，ぜひご覧ください。

◆河﨑 節子 手仕事展　2 月 23 日（火・祝）～28 日（日）

当ギャラリーでは初となる河﨑 節子 様の作品展です。10 年程前から自宅アトリエにて制作・展示しているオリジナルデザインのビーズ刺繍(ししゅう)バッグ，ワイヤービーズアクセサリーやクラフト作品など 100 点を展示予定です。

◆敦賀水彩画教室作品展　3 月 2 日（火）～7 日（日）最終日は 15:30 まで

柴田 邦彦 先生（日本美術家連盟会員）を講師にむかえ，2019 年 6 月より活動を始めた敦賀水彩画教室の皆さまによる水彩画展です。これまでに描いた作品 40 点を展示予定です。

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー　敦賀市本町 2 丁目 9-16
フリーダイヤル 0120-749-201　FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※　休館日 12 月 29 日～1 月 3 日
※新型コロナウイルス感染予防対策のため，開館時間を短縮しています。
http:// www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html

感染防止徹底宣言ステッカーを取得しています

本資料の作成元・お問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL: ０７７０－２５－５７１３　住所：敦賀市本町２－９－１６

2021 年 2 月 1 日
No.198

げんでん いんふぉめーしょん２月号

1．敦賀発電所の状況（2021 年 2 月 1 日現在）

プラント（炉型）	状　況
1 号機（沸騰水型）	**●2017 年 5 月 15 日より廃止措置工事実施中**（廃止措置期間：24 年） ○2015 年 4 月　営業運転終了 ○水素・酸素発生装置（水電解装置）解体工事（2020 年 7 月 1 日～） 廃止措置とは，運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し，これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し，更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2 号機（加圧水型）	電気出力 116.0 万 kW，1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922 億 9908.3 万 kWh **●2011年8月29日～　第18回定期検査中** ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規制基準への適合性確認審査のための申請を行い，現在審査対応中です。対応状況は，以下をご覧ください。

＝敦賀発電所２号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について＝

原子力規制委員会による審査は，敷地内破砕帯評価と地震動評価（地震の揺れ）の二つの論点について並行して進められています。

昨年2月の審査会合で，敷地内破砕帯評価に関して，発電所敷地北側にある断層（K断層）と2号機原子炉建屋直下にある破砕帯との関連性について当社から説明いたしましたが，当初審査資料に記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し，詳細データである顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて，不適切であるとのご指摘を受けました。

このご指摘に対して，6月および10月の審査会合において記載の変更に至った経緯や理由，資料作成業務の改善点などを説明した結果，適合性確認審査が継続されることとなりました。原因分析の内容や業務の改善状況については，審査とは別に，原因調査分析に係る検査（品質保証に係る検査）の中で確認していくこととなり，11月の公開会合でボーリング柱状図作成の業務フロー，原因分析結果などについて当社から説明を行い，さらに12月14日および15日の当社本店での検査において，関連する記録・文書などを提示し，確認いただきました。今後は更に詳細に原因の深堀りを行い，必要な改善策を検討してまいります。

当社は，引き続き，安全審査ならびに品質保証に係る検査について，真摯に対応してまいります。

2．敦賀発電所３，４号機準備工事の状況（2021 年 2 月 1 日現在）

現在，原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

建設予定地の状況（2021 年 1 月 26 日撮影）

3. トピックス

（1）敦賀発電所 1 号機 廃止措置工事に係る情報交換会を開催

1 月 21 日，（公財）若狭湾エネルギー研究センター主催のもと，敦賀発電所 1 号機の廃止措置工事に係る情報交換会が開催されました。

情報交換会では，元請会社の原電エンジニアリング(株)から本年 2 月に着工予定の解体工事（「屋外設備（窒素供給装置および補助ボイラー）解体工事」および「タービン補機冷却系熱交換器他解体工事」）について，作業内容や技術要件などの全体説明を行うとともに，廃止措置工事における元請会社の要望と県内企業が所有する技術のマッチングを目的とした個別面談が行われ，全体説明会に 19 社，個別面談に 10 社の地元企業の方に参加いただきました。

当社は，今後も地元企業の方々への廃止措置に係る情報発信を幅広く行うとともに，廃止措置を安全第一で進めてまいります。

個別面談の様子

（2）つるが国際シンポジウム 2020－クリアランス勉強会－に協力

1 月 23 日，（公財）若狭湾エネルギー研究センターにおいて，つるが国際シンポジウム 2020（文部科学省主催）のプレイベント「クリアランス勉強会」が開催されました。

参加者の方々には，当社の原子力発電所で発生したクリアランス金属で制作したクリアランスベンチの放射線測定を体験していただき，クリアランス物に触れていただくとともにクリアランスの基準について知っていただきました。その後，量子科学技術研究開発機構 鈴木総括参事や福井大学 柳原特命教授などの有識者をお迎えし，地域住民や学生の方々との間でクリアランスに関する活発な意見交換が行われました。

当社は「クリアランス勉強会」にスタッフとして参加し，放射線測定体験の指導員および意見交換の質問対応で協力しました。

放射線測定体験の様子

意見交換の様子

クリアランス制度
原子力発電所の解体などで発生する金属やコンクリートなどについて，自然界の放射能レベルと比較して極めて低いものを一般のリサイクル物や産業廃棄物として再利用または処分することができる制度。

4. コミュニケーション活動

・げんでんふれあいトークを開催

当社では，地域の皆さまとのコミュニケーションを深めさせていただく場として，自治会の会合，サークルの集まり，社内研修などに当社社員がお伺いして，気軽にお話合いのできる「げんでんふれあいトーク」を行っています。

1 月 17 日，敦賀原子力館にご見学にいらっしゃった越前市武生西自治振興会環境整備部の皆さまと「げんでんふれあいトーク」を行いました。当社から原子力発電や防災対策のことなどについてご説明し，皆さまと意見交換させていただきました。

敦賀原子力館見学の様子
越前市武生西自治振興会
環境整備部のみなさま

げんでんふれあいトークの様子
越前市武生西自治振興会
環境整備部の皆さま

げんでんふれあいトーク お問合せ
電話：0770-25-5713

5. 次世代層への教育支援活動

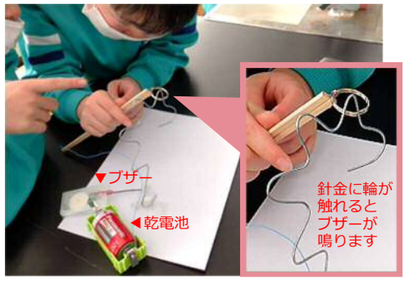
（1）小学校への出前授業を実施

「出前授業」は，福井県内の学校を対象に，当社社員が学校に直接出向いて実施する環境・エネルギーの授業です。1 月 12 日は，敦賀市立粟野南小学校において 3 年生を対象とした「明かりをつけよう」の授業を行いました。授業では，豆電球と乾電池のつなぎ方や電気を通すもの・通さないものを調べたり，電気を通した針金に金属の輪が触れるとブザーが鳴る「輪くぐり」を体験したりして，電気回路について学習しました。

また，1 月 21 日は，敦賀市立松原小学校理科クラブにおいて「つかめる水」の授業を行いました。食物繊維の成分であるアルギン酸ナトリウムに乳製品に含まれる乳酸カルシウムを加えると固くなる性質を利用して，つかめる水を作りながら化学反応を体験しました。

当社はこれからも次世代層への環境・エネルギー教育について様々な支援を行ってまいります。

「明かりをつけよう」の授業の様子
（粟野南小学校）



ブザーを鳴らさず輪くぐりできるかな？
（粟野南小学校）

「つかめる水」の授業の様子
（松原小学校）

つかめる水ができました！
（松原小学校）

（2）2020 福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀作品展を開催

2020 年 12 月 22 日から 2021 年 1 月 10 日，げんでんふれあいギャラリーにおいて，児童，生徒の優れた理科研究を紹介する「2020 福井県小・中学生科学アカデミー賞」（福井新聞社主催，当社協賛）の優秀作品展 敦賀展を開催しました。

県内の児童，生徒の皆さんから応募のあった作品 3,482 点の中から選ばれた最優秀賞 2 点，優秀賞 14 点，県教委賞 2 点を展示しました。開催期間中は，ご家族連れなど多くの皆さまにお越しいただきました。

当社は，これからも地域の児童，生徒の皆さんを対象とした次世代層への教育支援に取り組んでまいります。

熱心に優秀作品をご覧になる来場者の皆さま

6. 主な報道発表（2021 年 1 月 6 日以降）

詳細な内容は当社ホームページ http://www.japc.co.jp をご覧ください。

◀こちらから
当社ホームページを
ご覧いただけます

1/29	**「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る当社の取組みに関する進捗状況について** 当社は，2016年3月11日の原子力関係閣僚会議において決定した「原子力災害対策充実に向けた考え方」を踏まえ，同年3月17日に経済産業大臣から出された要請を受け，原子力災害対策への取組みを継続的に進めてきました。 1月29日，東海第二発電所および敦賀発電所における取組みの進捗状況を取りまとめましたのでお知らせします。 当社は，引き続き東海第二発電所および敦賀発電所の安全性向上に努めるとともに，国および自治体の方々との連携を深め，原子力災害に対する緊急時対策・対応の充実，強化に向けた継続的な取組みを実施していきます。